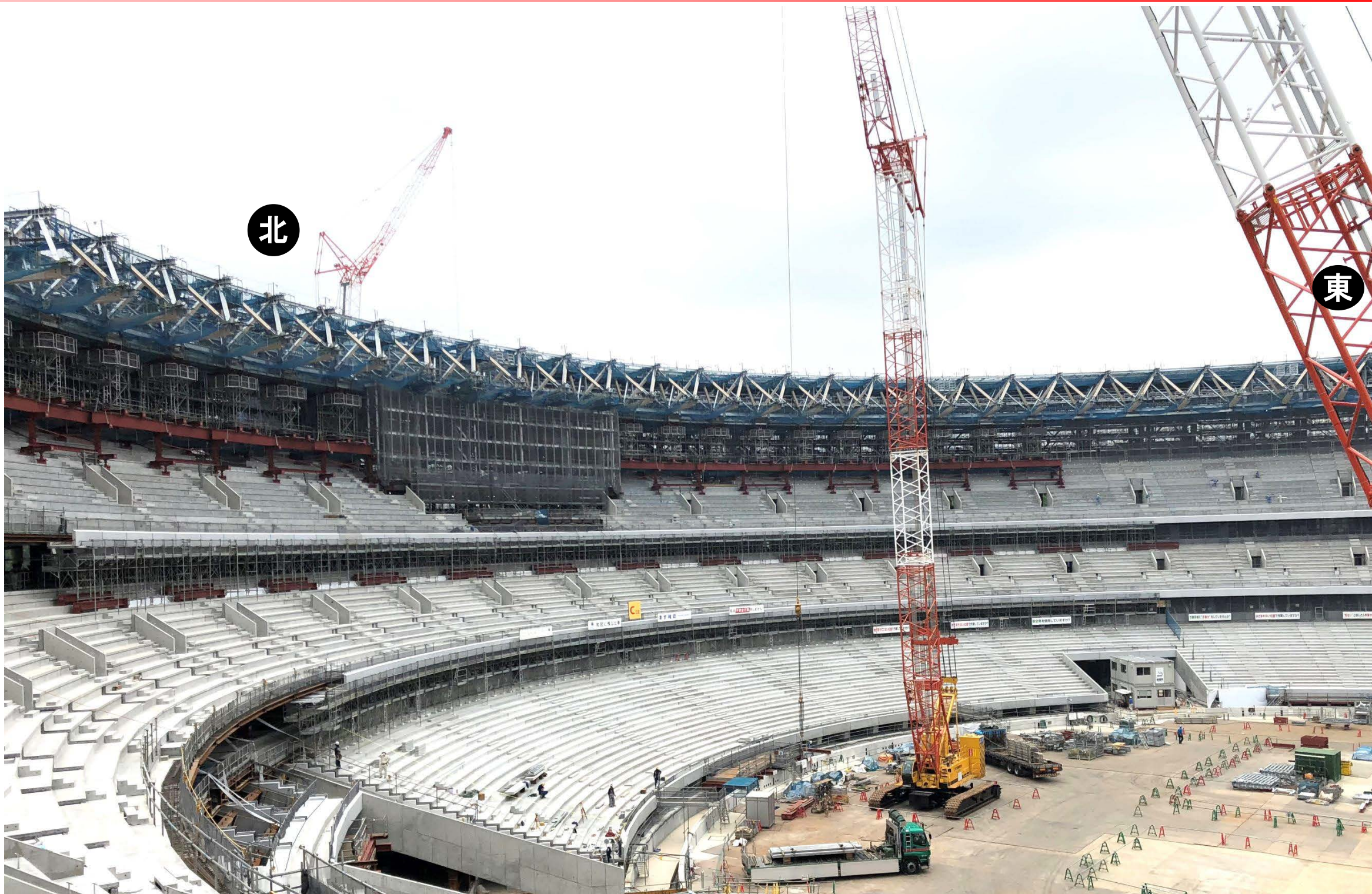
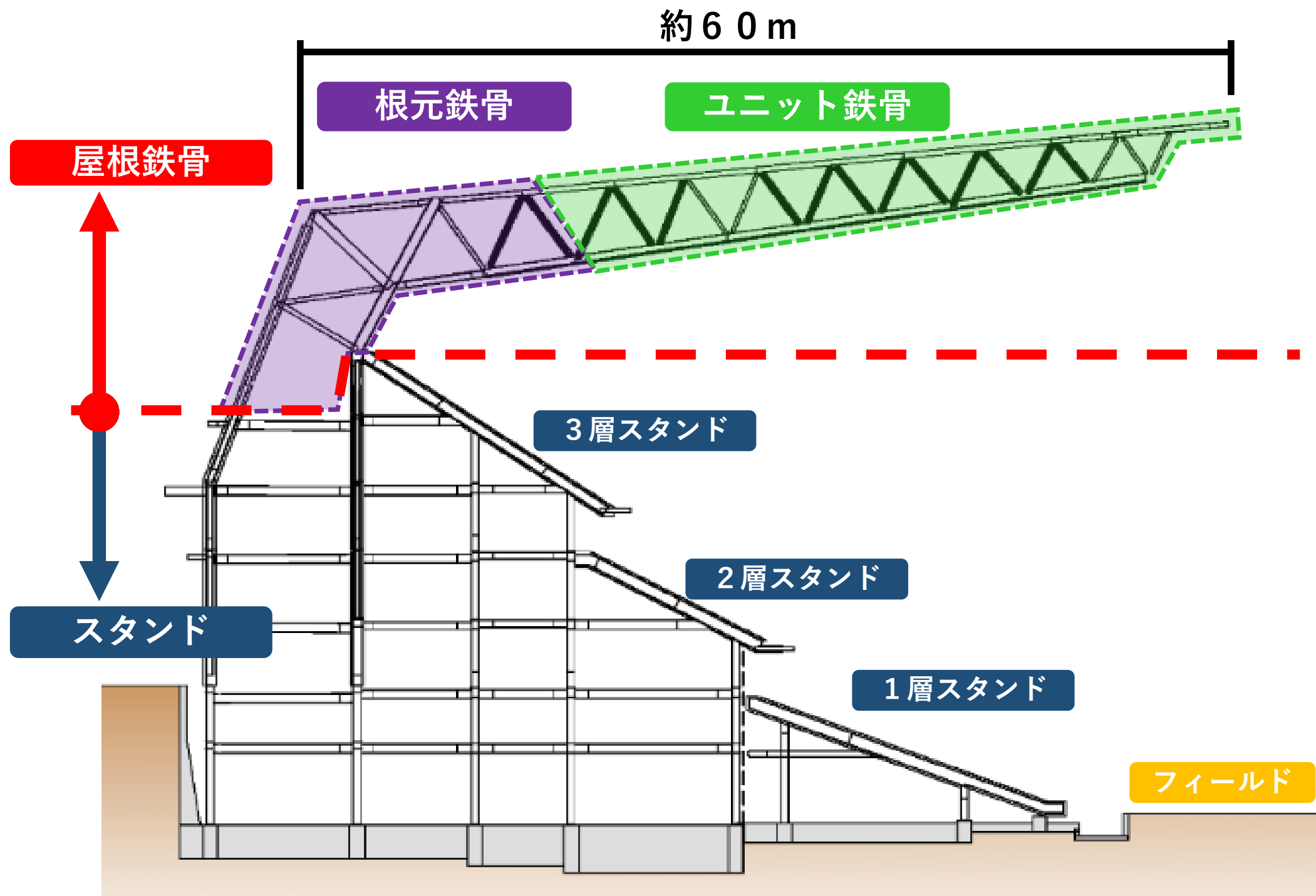


屋根鉄骨への木材取付

写真① スタンド北側



図① 屋根鉄骨工事 部分名称



写真② 屋根根元鉄骨



写真③ 木材取付作業場所



写真④ 木材取付 (前) (後)

木材取付 (前)



木材取付 (後)



屋根鉄骨への木材取付状況について（ポイント）

- 屋根鉄骨には、鉄骨と木材を組み合わせたハイブリッド構造※を採用し、「国産木材の利用による世界に誇れるスタジアム」として、国産木材を積極的に活用している。※十分な強度のある鉄骨を主体としつつ、地震や強風による変形を抑えるため木材を組み合わせたもの。
- 屋根鉄骨工事は、今年2月から根元部分の取付から着手し、来年5月中頃に終える予定。そのうち、今回公開するエリアでの作業は、昨年12月より開始し、本年12月頃に終える予定。
- 現在、根元部分は108スパンのうち63スパンの取付が終了。今後ユニット鉄骨の取付にも着手して行く予定。
- 材種は、森林認証を取得した国産のカラマツ（下弦材）及びスギ（ラチス材）を使用。
- 新国立競技場への木材の全体使用量（2千立方メートル程度 ※技術提案時）のうち、約9割弱を占めている。